

# AMPELMANN KAMMERMUSIK

## Soloabend Toru Takahashi

「コントラバスもたまには独りで弾きます」

Ein Kontrabaß spielt selten allein



アンペルマン室内楽 音楽監督 高橋 徹

AMPELMANN Kammermusik Leitung Toru Takahashi

ソロコンサート  
アンペルマン室内楽



傳通院

### Program

Kontrabaß  
高橋 徹  
Toru Takahashi

- J.S.バッハ 無伴奏組曲1番  
高橋幸代 「ベルリン小景」  
J.S.バッハ 無伴奏組曲5番

2020年4月11日(土)

17時00分 開演(16時00分 開場)

18時00分 ドイツビアフェスト 開催

11日・12日

自由席チケット:3,000円(1名様)

※小学生以下は無料です。

※チケットは数に限りがございます。[限定100席]

無くなり次第販売終了となります。

2020年4月12日(日)

16時00分 開演(15時00分 開場)

17時30分 於大御膳

12日限定

お食事券付チケット:8,000円(限定30名)

会場  無量山 傳通院

主催:無量山 傳通院 株式会社 彩プロダクツ

お問合せ:傳通院観音堂墓地管理事務所  
(03-3813-5077)まで 受付時間:9:00~16:00

協力:AMPELMANN Berlin





傳通院  
アンペルマン室内楽  
ソロコンサート

# AMPELMANN KAMMERMUSIK

## Soloabend Toru Takahashi

「コントラバスもたまには独りで弾きます」

Ein Kontrabaß spielt selten allein

アンペルマン室内楽 音楽監督  
コントラバス

高橋 徹 Toru Takahashi

コントラバス 高橋 徹

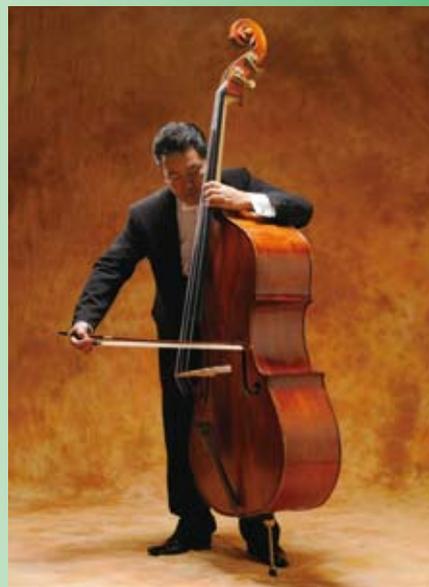
1960年江戸初期から神楽坂の左官と大工の家系に生まれ、幼少期よりピアノ、14歳からコントラバスを東京藝術大学名誉教授永島義男氏に師事。

カラヤンとベルリンフィル来日の際に弟子入りした首席奏者F.ヴィット氏に薫陶を受けるべくベルリンへ。1980年から今日まで在住。

1983年、日本人で初めてドイツ国立音大選抜オーケストラ「ユングドイチェフィル」に入団、以後1988年まで在籍し13回のツアーに参加。L.マゼール、G.ベルティニー、A.ドラティと枚挙に暇ない十数人のマエストロのもとで首席奏者を務める。初めてのプロオーケストラ出演は1984年にベルリンフィル。ベルリンフィル、ベルリン交響楽団、ハンブルク交響楽団、コンチェルトハウス管弦楽団などで演奏する傍らベルリン室内歌劇場、カンマーフィルハーモニーの首席奏者を経て、現在はコレリリ合奏団、ベルリンオルフェウスアンサンブル、新ボツダム管弦楽団首席奏者。ベルリンドイツ交響楽団には25年以上出演、来日公演にも6回参加した。教会音楽には30数年取り組みベルリンのカトリック本山聖ヘドヴィヒ大聖堂を始め多くの教会でのミサ、礼拝、コンサートで演奏している。

室内楽を活動のメインと考え、KAMMERENSEMBLE Berlin-Tokio、EnsembleL' estro Armonicoを主宰、また2011年から毎年春と秋にベルリンから室内楽を届けるアンペルマン室内楽シリーズを開催している。

ベルリン生まれのキャラクターAMPELMANN日本大使を2010年から務めている。



文京区を終の住処とし半生を過ごした森鷗外、軍医としてベルリンに留学中はミッテ区に居住しました。生まれ故郷の津和野町に今も残る生家、ミッテ区の下宿があった建物、団子坂上に鷗外が建てた観潮楼跡に、それぞれ鷗外記念館を有する日独3自治体の友好交流が2年前に始まりました。一昨年のミッテ区代表団来日ではミッテ区生まれのアンペルマン信号機が文京区に贈呈され、アンペルマンの名を冠した室内楽コンサートを鷗外記念館とシビック小ホールで開催しました。無量山傳通院麻生貫主にお誘いいただき昨春は傳通院ご本堂コンサートが実現しました。コンサートは音楽ホールで行う、これは正統なのですがドイツの教会でと同じ様に神社仏閣でも可能ならば行いたいと思ってきました。傳通院ご本堂の凛とした空間は昨春の私の初めてのソロコンサートを受けとめてくださり、自分の音を楽しめたコンサートでありました。

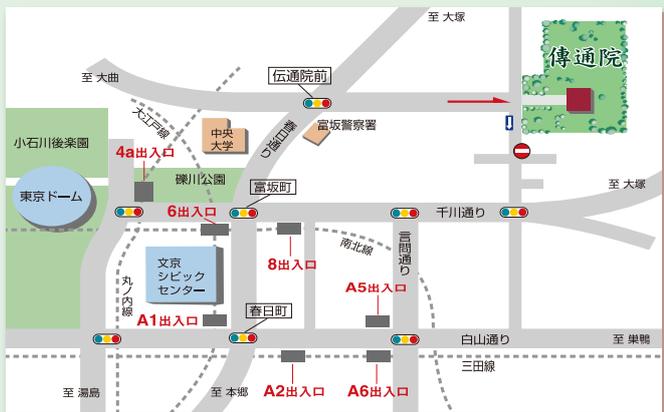
「コントラバスもたまには独りで弾きます」オーケストラでは弦楽器は複数で演奏するのが普通で全ての交響曲はその為に書かれています。独りでの演奏が当たり前なのはピアノくらいです。ましてコントラバスが独りで弾くことは大変に稀ですが、今回のアンサンブルでは縁の下の力持ち、一緒に弾く仲間に寄り添う役目から「独り」だけでの演奏を聴いていただきます。

チェロのために書かれたバッハの無伴奏組曲1番から始めます。J.S.バッハは音楽の父とも言われるバロック時代の大家、通奏低音で馴染みがありますが、コントラバス用のソロ曲はありません。コントラバスはクラシック時代までチェロと同じ譜面を弾くことが多く、出てくる音はオクターヴ低いのですが、そのまま演奏しては少し低すぎます。でもチェロと同じ音域ですとコントラバスらしくない。楽器にはそれぞれの得意な「鳴る」音域があります。コントラバスに適したバージョンで演奏します。鍵盤楽器に多くの作品を残したバッハ、壮大なオルガン曲とは正反対の単旋律で、しかし荘厳な作品を書いてくれました。煌びやかさではチェロに劣りますが、柔らかい豊かな響きで大バッハ作品を聴いていただきます。

作曲家高橋幸代さんにはBERLIN1920Sを始めベルリンをテーマの作品を委嘱してきました。無伴奏組曲「ベルリン小景」の6つの景色（花のある窓辺・菩提樹の並木を通して・西陽さまよう教会・佇む記憶・歩き出した帽子男・湖畔にて）をお楽しみください。そしてバッハの無伴奏組曲全6曲のなかで一番荘厳な5番を演奏します。昨年ご本堂で演奏中に次回とは決めた作品です。

お花見は堪能し終えた4月第2週末に傳通院ご本堂で同じ時間を共有するのをとっても楽しみにしております！

2月8日ベルリンにて 高橋 徹



無量山 傳通院

傳通院 観音堂墓地管理事務所

TEL03-3813-5077 受付時間：9:00~16:00

〒112-0002 東京都文京区小石川 3-14-6

交通アクセス  
都営地下鉄 大江戸線・三田線 春日駅より 徒歩10分  
東京メトロ 丸ノ内線 後楽園駅より 徒歩10分  
東京メトロ 南北線 後楽園駅より 徒歩10分  
都営バス 傳通院前